

観光地における戦略的な景観整備誘導システムの提案

～ 大分県別府市における湯けむり景観をケーススタディーとして ～

建築・都市計画研究室
建設工学科 1235037 松尾 沙央里

研究の背景

・近年の景観整備 地域の個性を重要視

湯けむり景観は別府市特有の景観 → 保全・整備を要する

・景観写真等を用いた既往研究による構図解析

→ 実際の景観整備に反映されていない

研究の目的

湯けむり景観の特性を把握

既往研究で明らかにされた画像の特性と比較

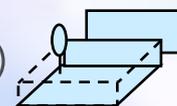
- ・観光パンフレットに使用される景観画像 — 選ばれる景観
- ・人々の印象に残る景観のスケッチ(画像) — 印象に残る景観

①湯けむり景観の保全・整備のために有用な知見を得る

②構図解析を実際の景観整備に反映させるためのシステムの開拓

研究のフロー

湯けむり景観画像(165枚)の構図解析(リデュース法)



選ばれる景観の構図・要素と比較

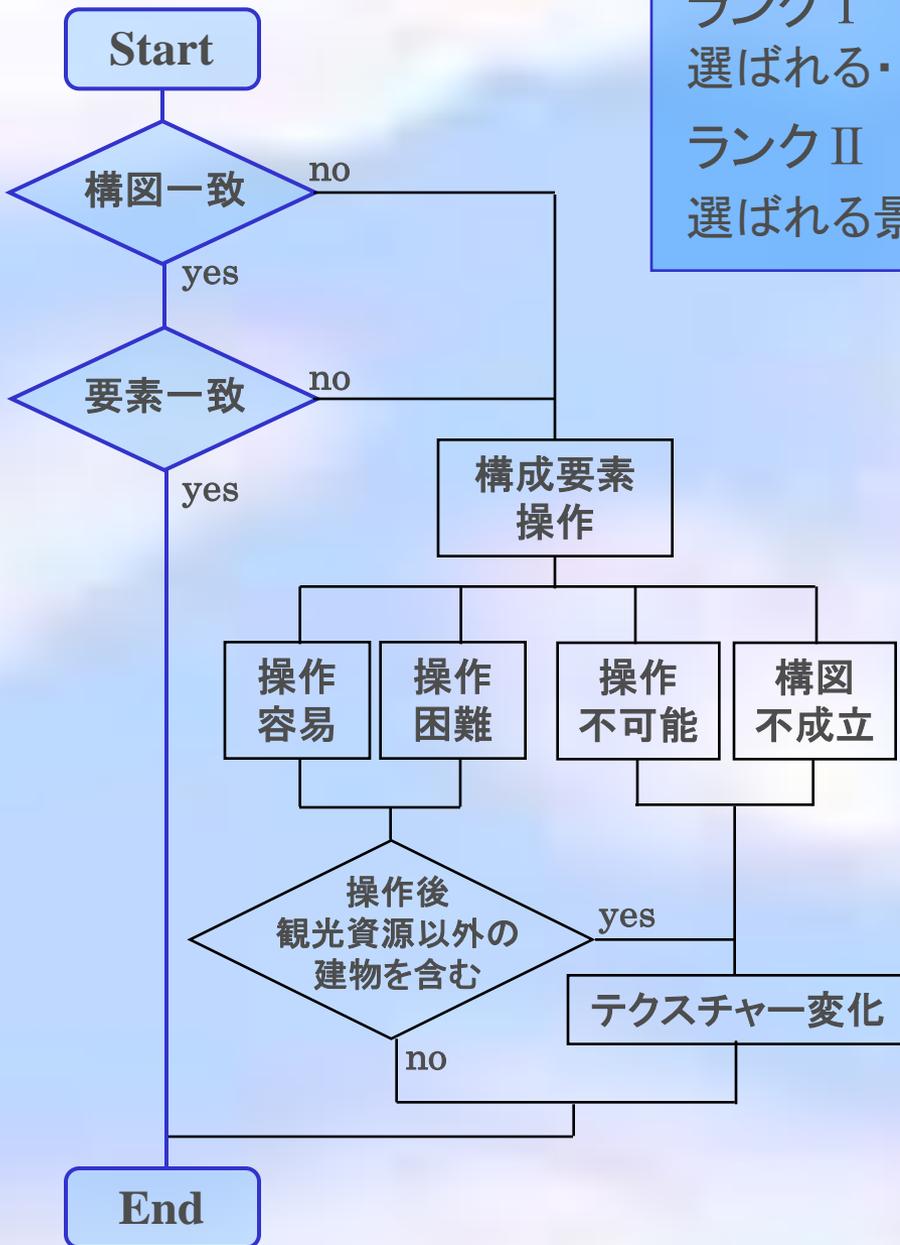
印象に残る景観の構図・要素と比較

構図・要素の一致度による湯けむり景観画像のランク付け

一致度の低い湯けむり景観画像をPhoto Montageにより
一致させるようにコントロール → 保全・整備対策の提案

湯けむり景観視点場と対象場の属性提示

上記2項目による湯けむり景観の総合評価



ランクⅠ - 13枚
 選ばれる・印象に残る景観のどちらも構図・要素が一致

ランクⅡ - 2枚
 選ばれる景観か印象に残る景観のどちらかに一致

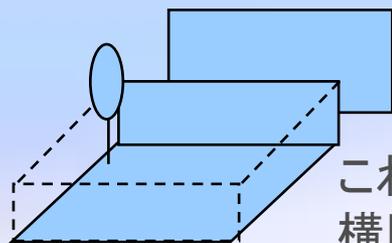


ランクⅠ 選ばれる・印象に残る景観と構図・要素が一致



ランクⅡ

印象に残る景観にのみ一致



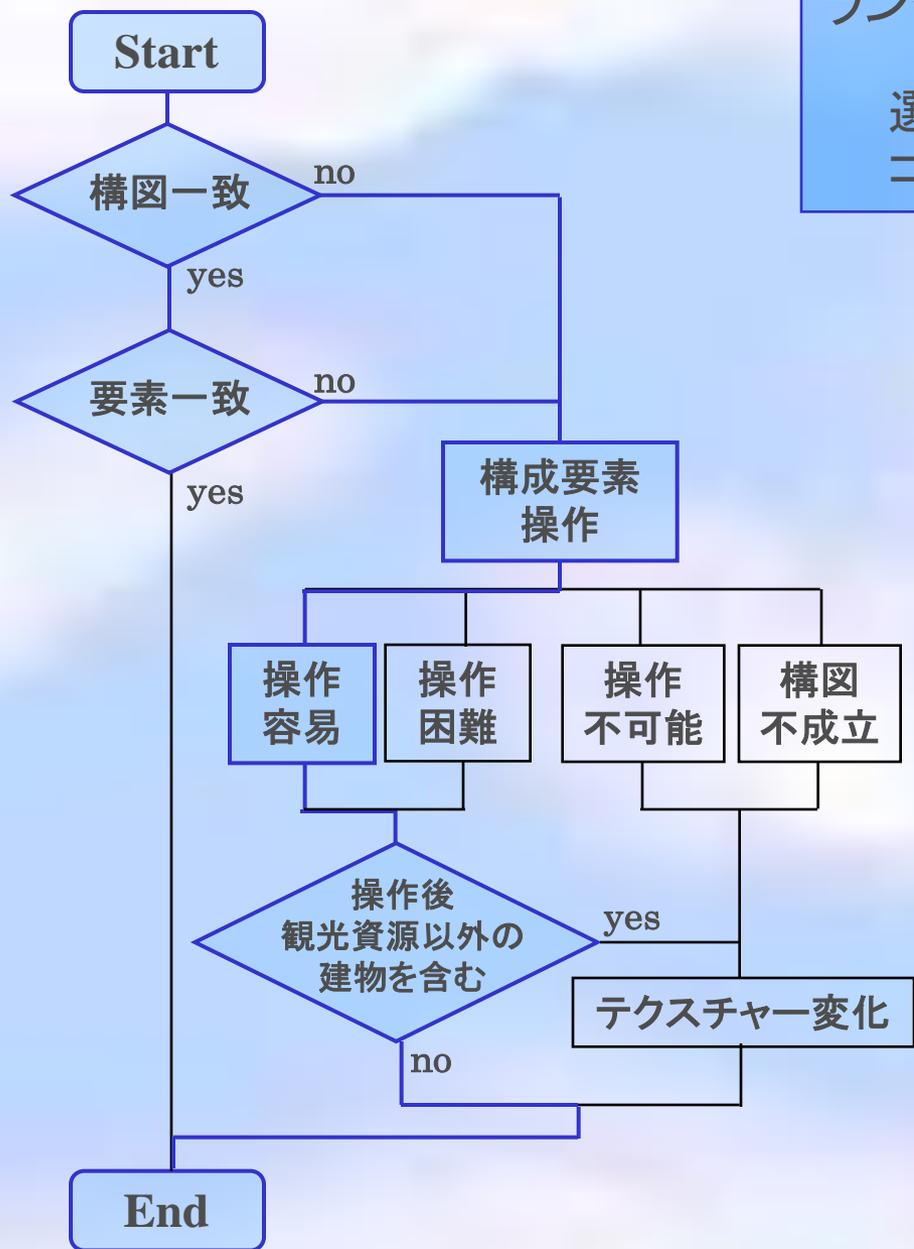
これらの画像の
構図タイプ

全て大規模景観が多く含まれる左の構図タイプ
遠景か、中景から遠景にかけての画像

ランクⅢ 選ばれる景観26枚・印象に残る景観23枚

選ばれる・印象に残る景観の特性に不一致
コントロールを要する構成要素の操作が容易

コントロールを要する要素: 樹木・電柱・乗り物 等



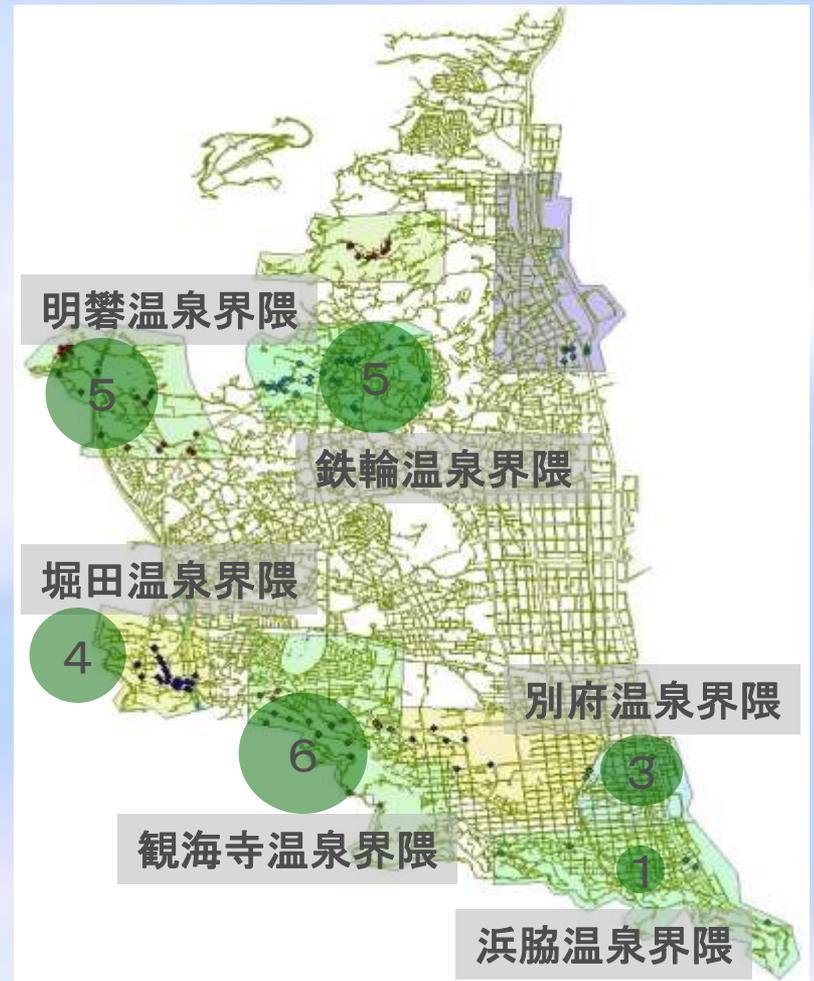
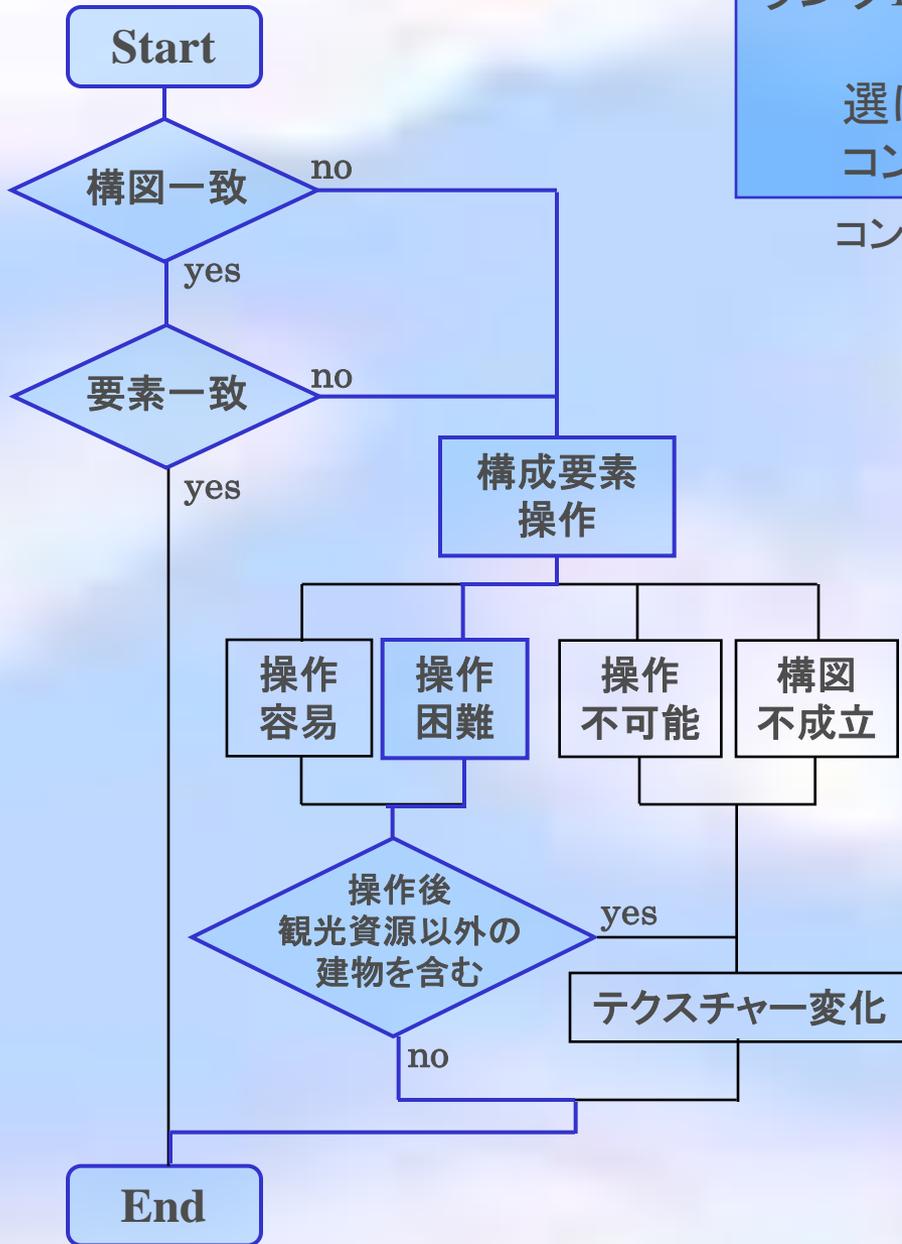


鉄輪温泉界隈 ランクⅢ
1か所

ランクIV 選ばれる景観31枚・印象に残る景観24枚

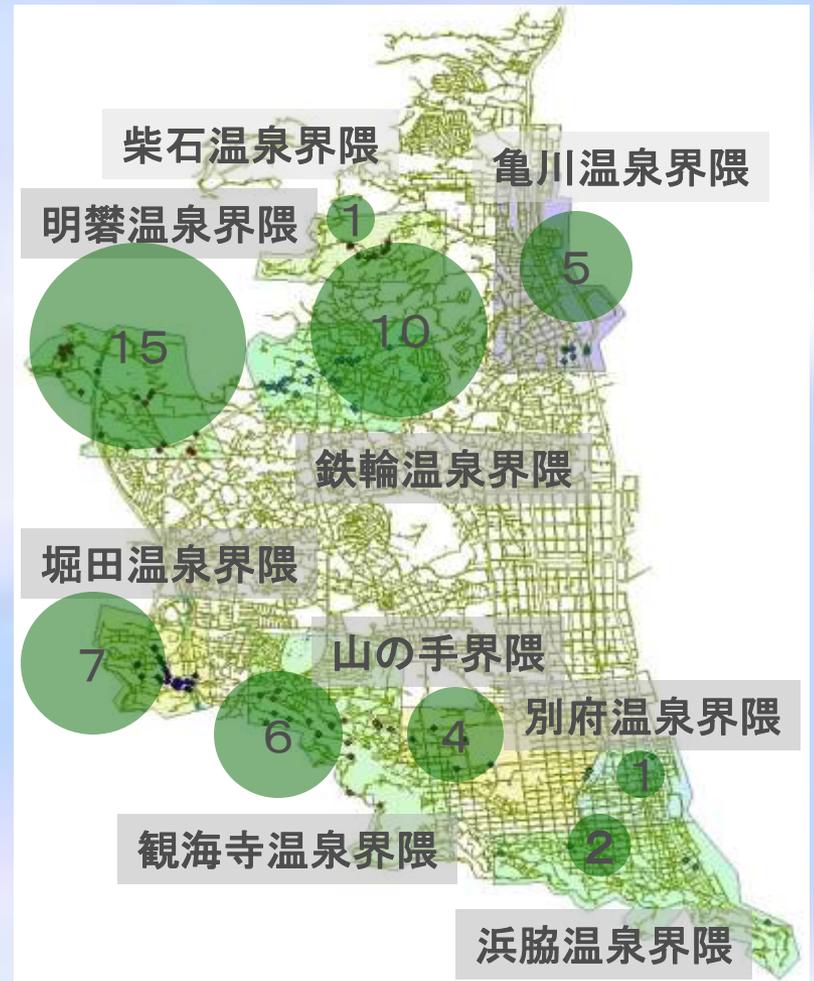
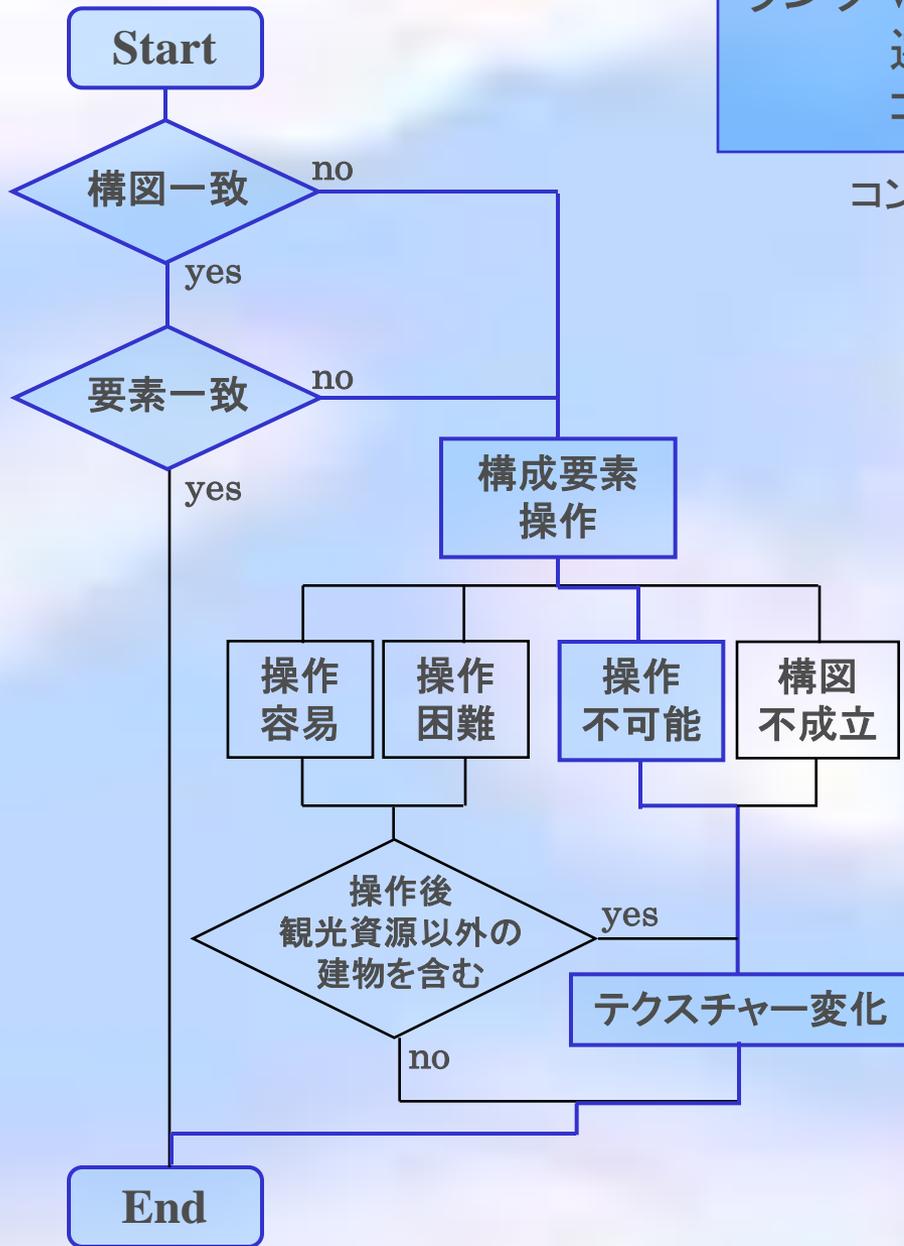
選ばれる・印象に残る景観の特性に不一致
コントロールを要する構成要素の操作が困難

コントロールを要する要素: 建物・高速橋梁 等建造物系



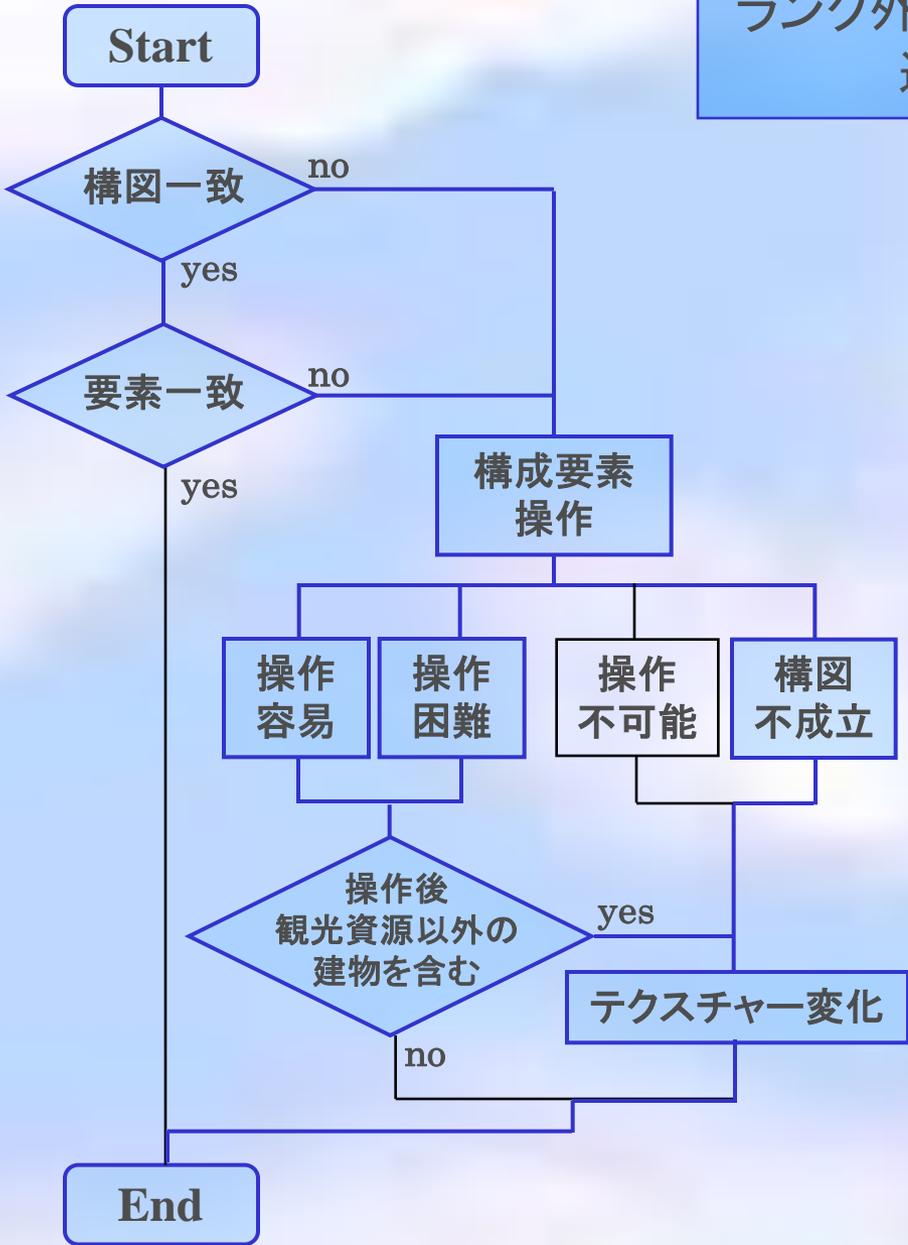
ランクV 選ばれる景観62枚・印象に残る景観51枚
 選ばれる・印象に残る景観の特性に不一致
 コントロールを要する構成要素の操作が不可

コントロールを要する要素: 地形を構成する山、海 等
 道路設備(標識、信号) 等



ランク外 選ばれる景観30枚・印象に残る景観49枚
 選ばれる・印象に残る景観の特性に不一致

- ・コントロール後に観光資源以外の建物を含む
- ・コントロール後構図タイプが変化、
構図として成り立たなくなる



コントロール後



テクスチャー変化により良くなる

湯けむり景観視点場と対象場の属性

アクセシビリティ 視点場から最も近いバス停までの距離

165カ所中152カ所の視点場が
容易にアクセス可能

	視点場数	300m以下	300m以上
明礬	38	36	2
亀川	10	10	0
観海寺	26	16	10
別府	4	4	0
山の手	6	6	0
鉄輪	40	40	0
柴石	10	10	0
堀田	23	23	0
浜脇	8	7	1

用途地域

- ・住居地域 — 日常生活で湯けむり景観を見るために良い環境であるか
- ・商業地域 — 観光の発展に寄与する可能性

	別府	亀川	浜脇	柴石	堀田	山の手	観海寺	鉄輪	明礬
商業	4	3	2			1	16	17	17
住居		4	6	10	23	5	10	23	20
例外									1

例外・・・市街化調整区域

湯けむりの数 画像に写りこんでいる湯けむりの数を提示

	堀田	観海寺	鉄輪	明礬	柴石	亀川	山の手	浜脇	別府
最小値	1	1	1	1	1	1	1	1	1
最大値	4	7	41	6	4	1	4	5	2
平均値	2.35	2.31	13.2	2.68	1.6	1	2.33	3.38	1.25

鉄輪温泉界隈のみ 圧倒的な本数の湯けむりを見ることができる

総括

- ・湯けむり景観をリデュース法により分類
- ・選ばれる景観・印象に残る景観の特性と比較、ランク付け
→ 全体的に低ランクに属する

鉄輪温泉界限	湯けむり景観のランク、アクセス性、湯けむりの本数、 全てにおいて高いポテンシャルを示した
別府温泉界限	アクセス性は良いが、 見ることができる湯けむり景観は低ランク

今後の課題

「構図」の概念を重視した景観解析→
構成要素のテクスチャー・色といった
景観の美しさに関わる要点への対応を含めた景観整備手法を提示